2021年度　自己評価結果表（つくば香風寮）

共通評価基準（45項目）Ⅰ　養育・支援の基本方針と組織

1　理念・基本方針

（1）　理念、基本方針が確立・周知されている。	a 自己評価結果	b	c	計	【判断した理由・特記事項等】
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	27	2		29	ホームページ、事業概要、パンフレット、養育指針等
	93%	7%	0%	100%	

2　経営状況の把握

（1）　経営環境の変化等に適切に対応している。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	24	5		29	中長期計画、決算書等
	83%	17%	0%	100%	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	26	3		29	
	90%	10%	0%	100%	

3　事業計画の策定

（1）　中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	24	5		29	中長期計画　地域小規模の進捗が分からない
	83%	17%	0%	100%	
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	26	3		29	
	90%	10%	0%	100%	

（2）　事業計画が適切に策定されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	21	8		29	職員的に理解が不十分
	72%	28%	0%	100%	
② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	16	13		29	理解を促すまでいっていない。 入所時に養育指針を渡すのみとなっている。
	55%	45%	0%	100%	

4　養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

（1）　質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	27	2		29	ケース会議、研修計画、職層別研修
	93%	7%	0%	100%	
② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	18	11		29	自立支援計画、ケース会議
	62%	38%	0%	100%	

Ⅱ　施設の運営管理

1　施設長の責任とリーダーシップ

（1）　施設長の責任が明確にされている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	24	4	1	29	職員に分かりやすい周知をしてほしい
	83%	14%	3%	100%	
② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	25	3	1	29	
	86%	10%	3%	100%	

（2）　施設長のリーダーシップが発揮されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	19	9	1	29	現場の養育に携わっている印象がない。　実習生への学習会
	66%	31%	3%	100%	
② 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	16	12	1	29	
	55%	41%	3%	100%	

2　福祉人材の確保・育成

（1）　福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	21	7	1	29	マイナビ、就活フェア 研修、寮内研修 人が定着しない。年休消化できない。
	72%	24%	3%	100%	
② 15 総合的な人事管理が行われている。	21	7	1	29	人が定着しない。年休消化できない。
	72%	24%	3%	100%	

（2）　職員の就業状況に配慮がなされている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	19	10		29	特休、計画年休、福利厚生等 有給が取りづらい。超過勤務手当を請求しづらい。
	66%	34%	0%	100%	

（3）　職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	24	5		29	研修参加、面談 研修を受けた人が伝達するシートにより多くの職員が知識を得るシステムがある。
	83%	17%	0%	100%	
② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	28	1		29	ペアトレ、外部研修
	97%	3%	0%	100%	
③ 19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	28	1		29	自主研修制度 研修の機会が多い。
	97%	3%	0%	100%	

（4）　実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	26	3		29	ケース会議への参加、毎日の振り返り 職員によって差がある。
	90%	10%	0%	100%	

3　運営の透明性の確保

（１）　運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	26	3		29	ホームページ等 情報公開委員会での取り組み
	90%	10%	0%	100%	
② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	25	4		29	
	86%	14%	0%	100%	

４　地域との交流、地域貢献

（１）　地域との関係が適切に確保されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	24	4	1	29	コロナ禍で減少。
	83%	14%	3%	100%	
② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	28	1		29	どこに明記されているか不明 募集等の案内
	97%	3%	0%	100%	

（２）　関係機関との連携が確保されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	25	4		29	要対協　社会資源を明確にした上で連携が取れているのか分からない。
	86%	14%	0%	100%	

（３）　地域の福祉向上のための取組を行っている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	19	10		29	ショートステイ ランドセル等の提供
	66%	34%	0%	100%	
② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	21	8		29	公益的な事業や活動の頻度は少ない。
	72%	28%	0%	100%	

Ⅲ　適切な養育・支援の実施
１　子ども本位の養育・支援

（１）　子どもを尊重する姿勢が明示されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	28	1		29	ケース会議、ＡＳ、ＳＳＴ作成、ペアトレ
	97%	3%	0%	100%	
② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	28		1	29	施設所有のカメラやＳＤカードを使用 ペアトレや学習会 ＳＮＳ等で一部子どもの情報漏洩
	97%	0%	3%	100%	

（２）　養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	26	3		29	進路相談、テスト結果
	90%	10%	0%	100%	
② 31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	26	3		29	養育方針説明書
	90%	10%	0%	100%	
③ 32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	23	6		29	要対協、アセスメントの引き継ぎ等 アフターケアが十分とは言えない。
	79%	21%	0%	100%	

（３）　子どもの満足の向上に努めている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	25	4		29	リクエストメニュー、意見箱、個別レク等
	86%	14%	0%	100%	

（４）　子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	27	2		29	意見箱、定期聞き取り
	93%	7%	0%	100%	
② 35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	29			29	個別であったり、全体に対しての周知がある 意見箱、定期聞き取り
	100%	0%	0%	100%	
③ 36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	23	5	1	29	生活聴きとり 情報が混乱することがある。
	79%	17%	3%	100%	

（５）　安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	28	1		29	ヒヤリハットレポート アクシデントレポート 安全点検、事故報告書
	97%	3%	0%	100%	
② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	24	4	1	29	予防接種、別室隔離、トイレ・シャワー付きの静養室を確保
	83%	14%	3%	100%	
③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	27	2		29	避難訓練、キャンプ、備蓄
	93%	7%	0%	100%	

２　養育・支援の質の確保

（１）　養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	29			29	生活マニュアル、ペアトレ等
	100%	0%	0%	100%	
② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	28	1		29	ケース会議、実習生の声を周知・意見を取り入れる 生活マニュアルの更新
	97%	3%	0%	100%	

（２）　適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	29			29	ＡＳ、ＳＳＤ
	100%	0%	0%	100%	
② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	29			29	２ヶ月に一度の見直し
	100%	0%	0%	100%	

（３）　養育・支援の実施の記録が適切に行われている。	自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、	29			29	処遇システム、養護日誌、実施報告書

		職員間で共有化されている。	100%	0%	0%	100%	
	②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	28	1		29	一部で子どもとのやり取りをSNSで投稿している者がいる。
			97%	3%	0%	100%	

内容評価基準（23項目）Ａ－１　子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
（１）　子どもの権利擁護							
	①	A1　子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	29			29	宗教等への配慮 寮内研修
			100%	0%	0%	100%	
（２）　権利について理解を促す取組			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A2　子どもに対し，自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	27		2	29	※Bに２名つけていたため、Cで計上。
			93%	0%	7%	100%	
（３）　生い立ちを振り返る取組			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A3　子どもの発達状況に応じ，職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を実施している。	25		4	29	ＬＳＷ、アルバム、トラウマケア ※Bに４名つけていたため、Cで計上。
			86%	0%	14%	100%	
（４）　被措置児童等虐待の防止等			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A4　子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	28	1		29	就業規則、意見箱、定期的な聴きとり
			97%	3%	0%	100%	
（５）　子どもの意向や主体性への配慮			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A5　職員と子どもが共生の意識を持ち，生活全般について共に考え，快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	23	5	1	29	習い事、外食、個別レク 行事
			79%	17%	3%	100%	
（６）　支援の継続性とアフターケア			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A6　子どものそれまでの生活とのつながりを重視し，不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	25	4		29	乳児院との事前交流等 アフターケア 自活訓練
			86%	14%	0%	100%	
	②	A7　子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	19	8	2	29	家庭訪問 退所後のケアが不十分。アフターケアが具体的に明文化されているとよい。
			66%	28%	7%	100%	

Ａ－２　養育・支援の質の確保

			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
（１）　養育・支援の基本							
	①	A8　子どもを理解し，子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	24	5		29	アセスメントを通して共通理解を図った上での支援 職員によって差がある。
			83%	17%	0%	100%	
	②	A9　基本的欲求の充足が子どもと共に日常生活を営むことを通してなされるよう養育・支援している。	26	3		29	個別の時間がより充実するとよい。
			90%	10%	0%	100%	
	③	A10　子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし，子どもが自ら判断し行動することを保障している。	27	2		29	ストレングスの視点
			93%	7%	0%	100%	
	④	A11　発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	27	2		29	特別支援学級との連携等 適性支援
			93%	7%	0%	100%	
	⑤	A12　生活の営みを通して，基本的生活習慣を確立するとともに，社会常識及び社会規範，様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	26	3		29	
			90%	10%	0%	100%	
（２）　食生活			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A13　おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	26	3		29	ユニットでの調理、料理作り コロナ禍で会話減。
			90%	10%	0%	100%	
（３）　衣生活			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A14　衣類が十分に確保され，子どもが衣習慣を習得し，衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	27	2		29	
			93%	7%	0%	100%	
（４）　住生活			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A15　居室等施設全体がきれいに整美され，安全・安心を感じる場所となるよう子どもの居場所を確保している。	26	3		29	
			90%	10%	0%	100%	
（５）　健康と安全			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A16　医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに，必要がある場合は適切に対応している。	27	2		29	健康診断、発達障害受診、服薬管理 かかりつけ医が少し不安。
			93%	7%	0%	100%	
（６）　性に関する教育			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A17　子どもの年齢・発達の状況に応じて，他者の性を尊重する心を育てるよう，性についての正しい知識を得る機会を設けている。	23	6		29	職員個人に任せられている。
			79%	21%	0%	100%	
（７）　行動上の問題及び問題状況への対応			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A18　子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して，適切に対応している。	27	1	1	29	ケース会議で検討
			93%	3%	3%	100%	
	②	A19　施設内の子ども間の暴力，いじめ，差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	28	1		29	定期的な聴きとり、意見箱
			97%	3%	0%	100%	
（８）　心理的ケア			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A20　心理的ケアが必要な子どもに対して心理的支援を行っている。	19	7	3	29	心理士の不在（育休）
			66%	24%	10%	100%	
（９）　学習・進学支援，進路支援等			自己評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A21　学習環境の整備を行い，学力等に応じた学習支援を行っている。	24	5		29	適正支援、通塾
			83%	17%	0%	100%	
	②	A22　「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	26	3		29	奨学金の活用
			90%	10%	0%	100%	

	③	A23　職場実習や職場体験，アルバイト等の機会を通して，社会経験の拡大に取り組んでいる。	27 93%	2 7%	 0%	29 100%	職場体験等は未実施 アルバイト等
（１０）　施設と家族の信頼関係づくり			自己 評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A24　施設は家族との信頼関係づくりに取り組み，家族からの相談に応じる体制を確立している。	29 100%	 0%	 0%	29 100%	電話、手紙、面会等 ＦＳＷ
（１１）　親子関係の再構築支援			自己 評価結果			計	【判断した理由・特記事項等】
	①	A25　親子関係の再構築のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	28 97%	1 3%	 0%	29 100%	帰省調整 ＦＳＷ